

奥出雲町DX推進計画

令和5年度～令和8年度

改訂履歴

改訂年月日	改訂箇所	改訂内容
令和5年4月28日	—	新規作成
令和6年5月20日	7. アクションプラン一覧	・「行政のDX」項目「生成AIの活用」アクションプランの追加 ・「地域のDX」項目「蕎麦屋の混雑緩和と観光案内」アクションプランの削除
令和6年5月20日	7. アクションプラン一覧	・各アクションプランの「実行目標年度」を一部変更
令和7年6月9日	5. DX計画の方針 7. アクションプラン一覧	・「住民サービスのDX」項目「マイナンバーカード普及」を「窓口サービスの充実・窓口業務の効率化」へアクションプランの変更
令和7年6月9日	7. アクションプラン一覧	・各アクションプランの「実行目標年度」を一部変更

目次

1. はじめに（意義、背景と目的）
2. 基本理念
3. DX推進にあたっての課題 / 背景
4. ビジョン（目指す状態）
5. 基本方針
6. 推進体制
7. アクションプラン一覧

1. はじめに（意義、背景と目的）



はじめに

DX推進の意義

情報通信技術は急速に進化し、新型コロナウイルス感染症の拡大を契機に行政のデジタル化の必要性が一層高まりました。

こうした認識に基づき、国では「デジタル社会の実現に向けた改革の基本方針」（令和2年12月25日閣議決定）において、目指すべきデジタル社会のビジョンとして「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会～誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化～」が示されました。

令和3年5月には、デジタル社会形成基本法、地方公共団体情報システムの標準化に関する法律を含めたデジタル改革関連法が成立・公布され、自治体においては、自らが担う行政サービスについて、デジタル技術やデータを活用して、住民の利便性を向上させるとともに、デジタル技術やAI等の活用により業務効率化を図り、人的資源を行政サービスの更なる向上に繋げていくことが求められています。

計画策定の背景と目的

政府は、自治体におけるDXを効果的に推進するためには、国が主導的に役割を果たしつつ、自治体全体として、足並みを揃えて取り組んでいく必要があるとされ、総務省及び関係省庁による支援策等を取りまとめ、「自治体DX推進計画」として策定し、デジタル社会の構築に向けた取組みを全自治体において着実に進めていくこととしています。本町においてもDXを推進していくため、計画を策定し着実に進めていく必要があります。

2. 基本理念



奥出雲町DX推進の基本理念

国の ビジョン

デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会を目指す。誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化を推進する



奥出雲町DX 基本概念

デジタル技術、最新ソリューションを最大限に活用し、町の成長を見据えた政策を立案、実行の仕組み・役場内運用を再設計する。DXを推進することで地域課題の解決と、新たな価値創造につなげていく

奥出雲町DX 推進ポリシー

奥出雲町全体で前例にとらわれず、勇気を持ってDXを推進していく

- ・ 町民の要望、役場の課題に対してデジタル技術活用した解決手法を優先的に考える。
- ・ 「奥出雲町の持続的な発展」を念頭に、職員は課室の領域を超え、各種団体と町民も巻き込み町全体で推進していく。
- ・ 他自治体の実例、民間の知識や資源を有効活用し、政策のクオリティ向上、スピードアップを図っていく。

実現したい 未来

地域社会がデジタルの活用で豊かになり、持続可能で魅力的な笑顔あふれる町

- ・ 町全体でDXに取り組み、町民が様々な行政サービスを安心安全かつ利用しやすい役場になっている
- ・ スマート行政が進んでアナログ業務が減少し、役場業務の生産性が向上している
- ・ IT/WEBで町の魅力や住みやすさなどの情報を拡散し、町外の人を呼び込んでいる

アクション

「行政」「住民サービス」「地域」の3分野に分け、それぞれの分野でデジタル化のアクションプランを策定し実行していく
(デジタル先端技術の進歩など、状況に合わせアクションプランは随時更新していく)

3. DX推進にあたっての課題/背景



奥出雲町のDX推進にあたっての課題と背景

- ・ 高齢住民のデジタルへの抵抗感
- ・ デジタルデバイスの購入障壁解消
- ・ デジタルに対する学び不足

地域住民の情報技術利用格差
(デジタル・ディバイド)

- ・ 生活にデジタルの浸透
- ・ 新型コロナウイルス感染症
など社会環境の変化
- ・ 人口の減少

社会環境変化に対する対応の
迅速化

情報通信インフラの老朽化
新技術への対応
民間企業参入の障壁解消

デジタル化・ICTソリューション
を利用した行政業務の業
務効率化と生産性向上

- ・ ケーブルテレビ施設維持運用の継続性
- ・ 5Gなどの技術革新の加速
- ・ 民間への業務移管、協業の推進

- ・ 労働人口の減少
- ・ 行政サービスの多様化
- ・ 運用コストの増加

デジタル技術を有効活用し、VUCA時代※に対応する仕組みを作ることが必要

※Volatility（変動性）・Uncertainty（不確実性）・Complexity（複雑性）・Ambiguity（曖昧性）の頭文字を取った造語で、社会やビジネスにとって、未来の予測が難しくなる状況のこと

4. ビジョン（目指すべき状態 / 町の姿）



ビジョン（目指すべき状態 / 町の姿）

「行政のDX」、「住民サービスのDX」、「地域のDX」と大きく3分野に分けデジタル技術を活用した住民サービスの提供、役場の業務効率化などの個別アクションプランを計画的かつ効率的に実行していきます

行政のDX

事務の効率化
マンパワー不足を補う

行政運用コストの低減
多様化する業務に対応可能に

住民サービスのDX

手続き等のオンライン化
町からの情報提供の充実

地域住民の利便性向上
生活満足度向上

地域のDX

インフラの整備と維持
デジタルの浸透

定住人口の増加
観光振興・働く場の創出

地域社会がデジタルの活用で豊かになり、持続可能で魅力的な笑顔あふれる町

5. DX計画の方針



DX計画の方針

奥出雲町DX

行政のDX

- ペーパーレス推進
- テレワーク推進
- 電子決裁の導入
- RPA・AI利用推進
- 包括ケアシステム（医療 / 介護 / 行政の情報連携）
- 情報システム標準化・共通化
- セキュリティ対策・デジタル人材育成

など

住民サービスのDX

- 地域通貨（地域ポイント）の導入
- 行政手続きオンライン化
- キャッシュレス決済推進
- 窓口サービスの充実・窓口業務の効率化
- デジタルデバйд対策

など

地域のDX

- スポーツDX支援（ホッケー場AIカメラ導入）
- 害獣被害対策
- デジタルを活用した子育て支援
- 子育て世帯のコミュニティの形成 / ITリテラシー向上教育
- 情報通信基盤の整備

など

国の自治体DX推進計画で定められた重点取組事項を中心に、各分野の課題解決策を盛り込む。

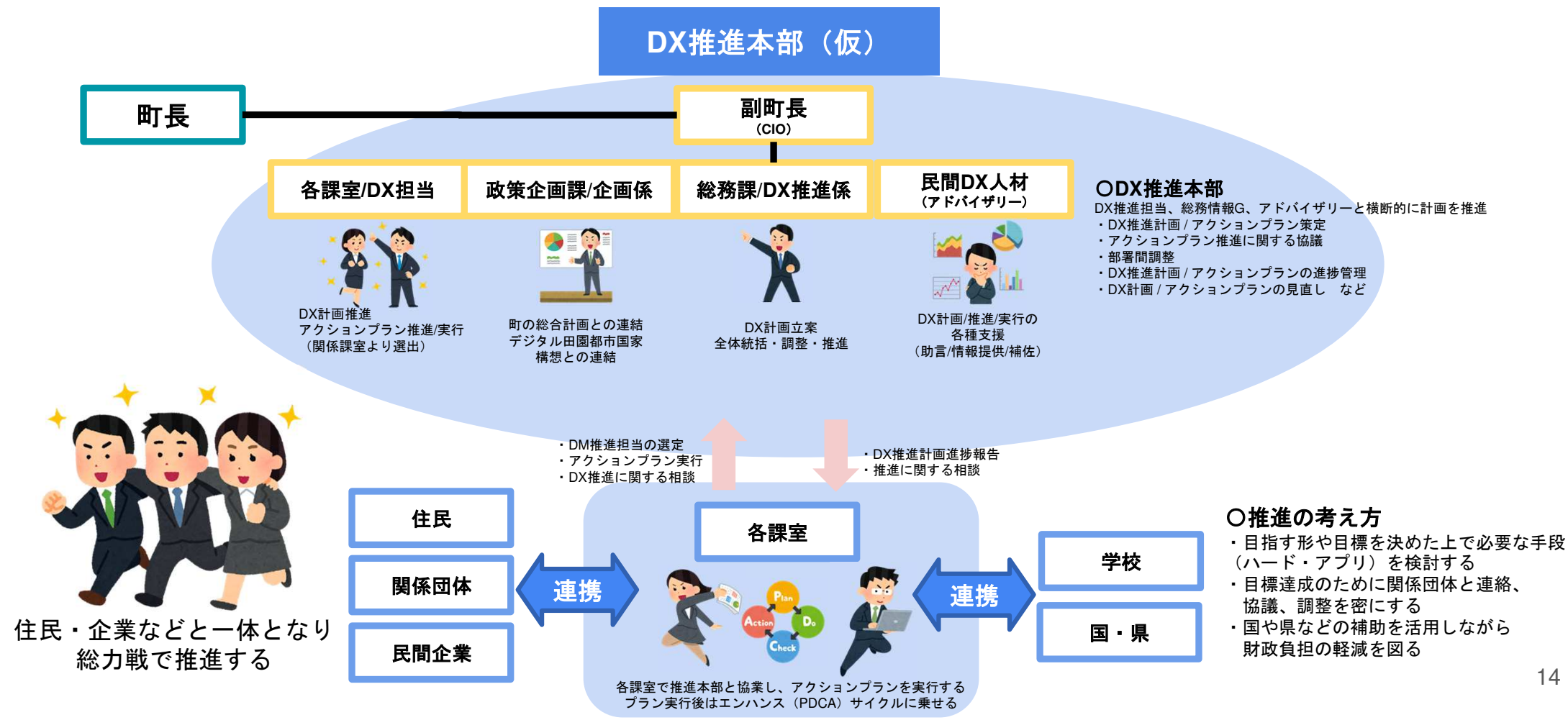
具体的には、デジタルを使ったサービスの抵抗感が少ない、子育て世代を中心にDX推進しながら、デジタルデバйд対策を進め、高齢者へのデジタルを活用したサービスの充実を図っていく。

6. DX推進体制



DX推進体制

横断的に自治体DXを推進するため、**副町長をCIO（本部長）とし「DX推進本部」を設置します。**
関係課室が連携しながら、計画を推進していきます。計画の取組みについては、社会情勢の変化に応じて見直しを行います。



7. アクションプラン一覧



アクションプラン一覧

行政のDX

業務 効率化		各種資料、回覧文章のペーパーレス化	R7年度
		テレワークの推進 / 対応した通信環境の整備	R8年度
		電子決裁システムの導入	R7年度
		財務会計システムへのRPA導入	R6年度
		生成AIの活用	R6年度
デジタル 環境整備		包括ケアシステムの構築 (医療/介護 行政の情報連携)	R8年度
		情報システム標準化・共通化	R7年度
		情報セキュリティポリシー改定／職員のITリテラシー向上	R5年度

住民サービスのDX

町民の利 便性向上		地域通貨（地域ポイント）導入	R8年度
		国が推進する行政手続きのオンライン化	R5年度
		キャッシュレス決済推進	R8年度
		窓口サービスの充実・窓口業務の効率化	R8年度
		LINEを活用した情報発信・手続き誘導	R6年度
高齢者支 援		デジタル・デバイド対策 / スマホ教室の開催	R5年度
		高齢者安心サポートサービス	R5年度

地域のDX

スポーツ 振興		町営ホッケー場 / AIカメラ導入	R5年度
農業支援		獣害対策	R7年度
子育て支 援/教育支 援		出産、育児のオンライン相談	R6年度
		母子手帳と子育てサービスの電子化	R6年度
		幼稚園児・小中学校における連絡等の電子化	R8年度
		子育て世帯のコミュニティの形成／ITリテラシー向上	R6年度
インフラ 整備		公共Free Wi-Fi高速化	R6年度
		情報通信基盤の整備	R8年度